

TECA

(テカ)

紫外線からの酸化・糖化を防ぎ、表皮・真皮を守る

【特長】

マダガスカル産の天然の希少なパウダーエキス
高いトレサビリティ、国連フェアトレード成分
UV 照射後の酸化、糖化を抑制し、AGEsによるダメージも最小化

【コンセプト】

TECA(Titrated Extract of Centella Asiatica)とは、
日本では**ツボクサ**と呼ばれるセリ科の植物の葉から得られた精製エキスです。

ツボクサは、西洋ではセンテラアジアチカ(一般名: Centella Asiatica / マダガスカル名: Talepetraka)として知られ、マダガスカルに代表される亜熱帯地域に広く生息する野生の多年草です。野生のトラが傷ついた時にツボクサに体をこすり付けて治したという伝説もあり、別名**タイガーズハーブ**とも呼ばれております。また、動物にとどまらず、ツボクサには優れた創傷治癒効果があり、古来より民間療法の薬として珍重されてきました。血管不全(むくみ等)、消毒、解毒、皮膚病など、多くの症状に応用されています。

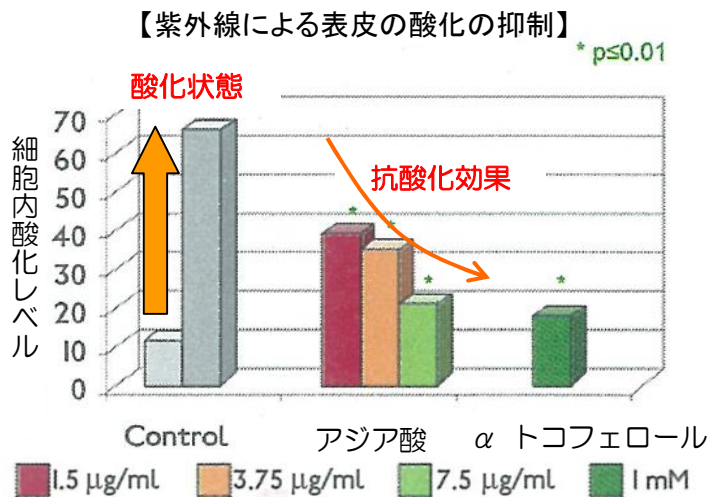


TECA は、手付かずの自然に包まれたマダガスカルの天然自生のツボクサの葉を「**手摘み**」で集め、現地で厳しい品質検査を受け南フランスの GMP 工場にて高純度精製したパウダー状のエキスであり、現地では医薬品用に用いられているものと同等の品質となっています。

主に4つの機能性成分がバイエルにより同定されており、TECA には、4成分の内、**アジア酸**(表示名称: アシアチン酸)、**マデサツソ酸**(表示名称: マデカシン酸)の「**酸成分(ゲニン)**」と、**アジアチコシド**(表示名称: アシアチコシド)に代表される「**配糖体成分(ヘテロサイド)**」の計3種の有効成分のみ(約100%)からなるエキスです。これらの特徴成分の内、**ゲニン**に高い抗酸化力があることが、バイエルにより分かってきております。

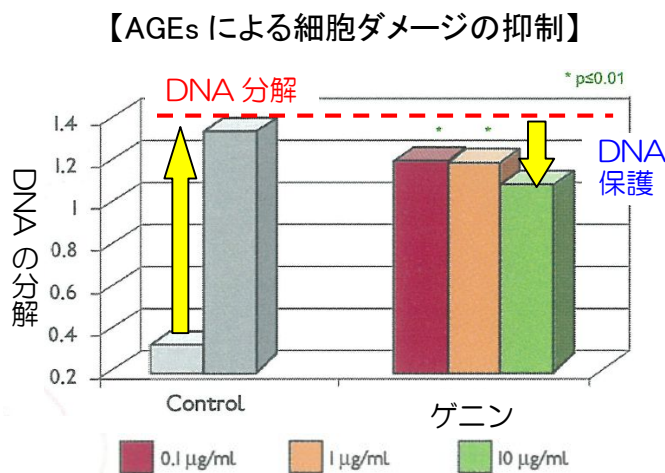
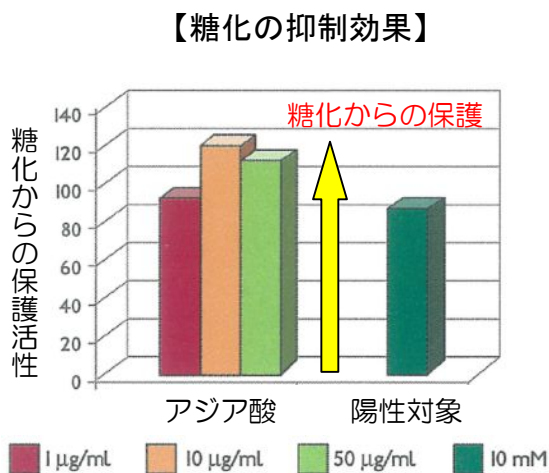
【効果・効能】

① ヒト表皮細胞を用いて、UVB を照射し、細胞内の酸化状態を計測した。



アジア酸の濃度に応じて、皮膚細胞内の酸化レベルは低下

② 皮膚による酸化が加齢と共に繰り返されることにより起こるコラーゲンやエラスチンなどの糖化(変性たんぱく質)を抑制し、更に高毒性の最終糖化産物(AGEs)による皮膚へのダメージの低下に高い活性を示した。



老化した肌における酸化ダメージの負の循環(糖化)を断ち切る効果

【商品情報】

商品名: TECA (テカ)

表示名称: ツボクサエキス(もしくは、アシアチン酸、マデカシン酸、アシアチコシド)

医薬部外品表示名称: お問い合わせください

製造元: Bayer Sante Familiale(仏)